

令和7年度大網白里市まち・ひと・しごと創生有識者会議（開催結果）

【開催日時】

書面開催(令和8年2月13日付け)

【場所】

—

【構成員名簿】

所属・役職	氏名	備考
大網白里市商工会 会長	久我 一雄	
山武地域振興事務所 所長	高岡 恭子	
城西国際大学 教授	渡邊 修朗	
株式会社千葉銀行大網支店 支店長	小笹 克哉	
連合千葉外房地域協議会 議長	織本 幸市	
株式会社千葉日報社東金支局 支局長	増淵 あかり	
株式会社ちばぎん総合研究所調査部 副部長	観音寺 拓也	
企画政策課 課長	飯高 謙一	事務局
企画政策課 副課長	久保 崇	事務局
企画政策課 主査	齋藤 友康	事務局
企画政策課 主任主事	田邊 正洋	事務局

【議事次第】

1 報告事項

- (1) 大網白里市総合戦略について

2 議題

- (1) 企業版ふるさと納税の活用状況について

【資料】

大網白里市まち・ひと・しごと創生有識者会議名簿

資料1 【報告】大網白里市総合戦略について

資料2 【議事】企業版ふるさと納税の活用状況について

【会議の経過】

1. 報告事項 (1)大網白里市総合戦略について

資料1を参照

2. 議 事 (1)企業版ふるさと納税の活用状況について

資料2を参照

■議事に対する意見と市の回答

- ① ふるさと納税の寄附金の使い道として、8分野(1.保健・福祉の充実～8.行財政運営)として寄付を受け入れていると思いますが、分野ごとの寄付状況と、これまでの活用事業の関連性がどうなっているか気になりました。
- 現状は、毎年1～3件程度の事業に活用しており、それ自体は良いのですが、上記の使い道として集めた寄附金を毎年どのような方針をもって、事業を選定しているのか、そのあたりがより明確になると良いと思います。
- 年度ごとの寄附額と件数の記載がありますが、各事業への活用金額と件数の意味が分かりづらいと思います。例えば、令和7年度でみると、3,600千円 6件とありますが、東大プロジェクトや津波避難タワー、給食費補助にそれぞれ何件、いくら活用をしたのか明示したほうが良いのではないかと思います。

《回答》

次回以降、ご意見を踏まえた資料作成を心掛けてまいります。

また、寄附活用事業につきましては、当該年度の「新規事業」又は「拡充事業」から選定し、寄附企業の希望に沿った上で決定しています。

今後、総合計画など、まちづくりの目標(ゴール)とリンクした選定方針等を提示できるよう検討してまいります。

なお、令和3～5年度については、市ホームページで活用事業と寄附の内訳等を公開させていただいております。

「企業版ふるさと納税について」(大網白里市ホームページ)

<https://www.city.oamishirasato.lg.jp/0000011279.html>

- ② 大網駅南地区まちづくり事業について、交通のハブとなっている大網駅の活性化と利便性向上に向けた取組は商業施設や住宅(マンション、戸建)の増加により人口減少といった課題解決の一助となるものと思われ、早期の対策が必要であると感じます。

《回答》

大網駅南地区につきましては、今後の事業化に向けた検討に先立ち、令和7年9月からサウンディング型市場調査を実施いたしました。

今後、当該調査の結果を踏まえ、「大網駅南地区まちづくり方針」の策定、「事業化検討パートナー」の選定に向けた検討を進めてまいります。

- ③ 東大生地域おこしプロジェクトについて、地域共創プランコンテストの開催で学生目線での地域おこしコンテストは非常に面白い取組でした。このコンテストのプレゼンだけで終わらせぬよう、プランをもとに起業などを興せる仕組みが欲しいところです。就業者増加に向けて、プランの実現を早期に行うことが必要であると感じます。

《回答》

コンテストで提案されたプランにつきましては、現在、学生を中心に農業体験イベントの試験的な実施案を企画しているところです。

今後も東大あぐりえこん。と連携し、プランの実装に向けた取組を進めてまいります。

- ④ 更なる取組をお願いします。

《回答》

引き続き、本市の地方創生に向けた取組を推進してまいります。

- ⑤ 令和7年度ではそれ以前と異なり、学生団体に活用しているのが有効的であると感じました。今後も積極的に若い世代との接点の創出に活用していただくことが活性化につながるように思いました。

《回答》

今後、「まちづくりプラットフォーム」を創設し、世代や属性を超えて参加できる「まちの未来を考える場」の構築を目指してまいります。

当該プラットフォームの取組を通じて、本市の未来の担い手となる若者世代の育成を図ってまいりたいと考えております。

その他

■議事以外に対する意見等と市の回答

- ① 「東大あぐりえこん。×大網白里市 地域おこしプロジェクト」は大学とうまく連携した取組であり、非常に良いものだと思います。

都心とのアクセス性の高さや豊かな自然といった大網白里市のポテンシャルを活かして若者世代のファンを作る取組には市としても積極的に支援をしてもらいたいと感じました。ふるさと納税の活用もされていますが、資金面だけでなく、人材面として、例えば若手職員のプロジェクトチームなどを組成して、若者の関係人口創出に向けて、東大あぐりえこん。と連携しながら様々なプロモーションなどを展開するのも面白いのではないかと思います。

《回答》

令和7年度に実施した「地域共創プランコンテスト」では、関連する部署(秘書広報課・企画政策課・農業振興課・商工観光課)の職員が参加し、意見交換等を行いました。

今後、庁内横断的な若手職員の参加についても検討してまいりたいと思います。

- ② 企業誘致については、若者の定住促進という点で非常に重要であり、現状のみどりが丘や白里幼稚園の活用は良い取組だと思えます。
現在進行している公募事業の進捗については、結果等について改めて報告してもらいたいです。

《回答》

公募事業については、現在、優先交渉権者等が決定し、今後の準備を進めております。現段階で公表できる内容は審査結果のみですが、今後、展開等がありましたら順次市ホームページ等で公表してまいります。

「大網白里市みどりが丘市有地の一部利活用事業者選定に係る公募型プロポーザルの結果について」(市ホームページ)

<https://www.city.oamishirasato.lg.jp/0000015080.html>

「旧白里幼稚園等利活用事業者募集に係る公募型プロポーザルの審査結果について」(市ホームページ)

<https://www.city.oamishirasato.lg.jp/0000014899.html>

- ③ 企業誘致の推進について、適地バンク制度がより活性化されることを切に望みます。進出希望の企業を募るためにも、候補地の住所や面積だけでなく地図上での場所が分かるもの、賃借なのか売却なのかの希望、最適用途などの明示があるとより良いと思えます。

《回答》

ご意見を踏まえ、より分かりやすい情報提供に努めてまいります。

- ④ 空き家対策について、空き家のニーズはあれど、空き家バンクへの登録が少ない状況にあるとのことですが、空き家対策に特化した企業との連携で課題解決できる可能性があります。当該企業は千葉県内の一部市町村と包括連携協定を締結しており、空き家の買取、再販を行っています。一度ご検討してはいかがでしょうか。

《回答》

空き家バンクの活用に向けて、民間企業等との連携についても積極的に検討してまいりますと考えております。

- ⑤ 大網病院の駐車場ですが、年々駐車できなくなっていると思えます。曜日によるかもしれませんが、大網白里市民だけでなく、近隣の地域から来られる方からも、「車が停められない」「停めづらい」といった声を聞きます。大網白里市にはなくてはならない病院だと思えますので、是非とも行政の立場からも住民・他地域からの利用者のためにより良くなることを願っています。

《回答》

ご意見につきましては、大網病院担当者に共有させていただきます。

- ⑥ 大網白里市永田地先から国道128号線茂原市法目までの4車線化について、早期実現に向けて県政への要請をお願いいたします。

《回答》

ご意見につきましては、建設課担当者に共有させていただきます。

- ⑦ 地域共創プランコンテスト、企業誘致や空き家対策等など、良い取り組みだと思います。地域共創プランコンテストについて、学生との連携ということですが、東金市でも大学等と連携してオリーブの産地化に取り組んでおり、大網白里市でもこのような取組を通じて新たな魅力が生まれることを期待しています。企業誘致に関しては、大網白里市ではヨウ素が大きな武器になるのではないのでしょうか。また、空き家対策については、県内の各地で空き家が増加しており、効果的な取組が必要だと思われます。

《回答》

ご意見を踏まえ、各種施策を推進してまいります。

- ⑧ 総合計画と総合戦略の一体化については、一部の分野のみとするのではなく、全体的なものにした方が良いと感じます。

《回答》

ご意見を踏まえ、一体化に向けた検討を進めてまいります。

以上